

**令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」
機材供与式典**

2023年3月7日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、1991年の設立以来、母子家庭を中心にヨルダン人貧困層及びパレスチナ難民へ医療、教育、財政面での支援を実施している「ファルーク孤児支援協会」に対し、同協会がイルビッド・パレスチナ難民キャンプ内で運営する診療所の医療機材（レントゲン機器、超音波機器、血液分析機）を供与することにより、同キャンプ住民への医療サービスの質の向上及び健康増進に寄与することを目的としています。

同式典には、協会職員・関係者が出席し、フセイン・アブドゥバイ同協会代表からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、本支援により同協会が提供する医療サービスが一層強化されることを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計157件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。



